



商工あみ

URL <http://www1.ocn.ne.jp/~amisho/> E-mail: ami46@peach.ocn.ne.jp

発行所 阿見町岡崎3-17-9
TEL 029-887-0552
FAX 029-887-0342

発行責任者 日暮好夫

商工会員数 938名
青年部員数 37名
女性部員数 87名

受章おめでとうございます

阿見町商工会
会長 日暮好夫

千葉顧問と米川理事のお二人が栄誉ある受章をされましたことを、皆様にご披露申し上げますとともに、心からお祝いとお慶びを申し上げます。旭日双光章を受章された千葉顧問、藍綬褒章を受章された米川理事、それぞれ地域社会に密着した社会奉仕活動での功績が認められた結果だと思えます。私共もがんばらねばと思う次第です。さて、もう師走。会員の皆さんも頑張ってきて一年の仕事を顧みて、何が出来て、何が出来なかったかを考えてみる事も今後の参考になる大事な事だろーうと思えます。自分の為、家族の為、商工会の為、そして地域社会発展の為、力を合わせて頑張りましょう。



顧問 千葉力三氏 旭日双光章を受章

旭日章は国家又は公共に対し顕著な功績を挙げた方に対し授与されるもの。永年に亘る貢献活動の背景には、「社会奉仕活動一〇〇年」の精神がありました。



▼昭和四十七年に当会理事
▼同四十九年に監事
▼同六十三年に会長
▼平成四年に県商工会連合会理事
▼同九年には同副会長
▼同年に事業運営委員長
▼同十年に情報化推進委員長
▼同十三年には共済推進委員長に就任、県連合会と各商工会の事業推進の方向性を示唆。

▼茨城県商工会連合会に
関する功績 ①商工会財政基盤の強化など、商工会活動の全般に亘って尽力。



祝米川幸雄氏 藍綬褒章受章祝賀会

理事 米川幸雄氏 藍綬褒章を受章

消防団での活動の功績が認められ、本会理事の米川幸雄氏が藍綬褒章を受章されたことを祝福し、商工会により受章祝賀会を開催致しました。(7月15日:泰山にて)



商工会法施行45周年記念

茨城県商工会大会

十月十七日、商工会法施行四十五周年記念大会がつかば国際会議場で開催された。厳しい現状を少しでも改善方向に向けていくために三つの項目が大会決議として承認された。

①創業及び新たな事業創出の促進 ②まちづくりの推進 ③商工会組織の強化の三項目である。

「情報及び研修の充実」創業手続から日常的な経営課題、技術開発、資金調達に関する相談業務及びベンチャー企業に対するセーフティネットの充実。

「成長が期待できるサービス産業の育成支援」新分野といわれる生活支援サービス産業の創業促進。

「まちづくり三法の抜本的な見直し」立地企業と地域との共生によるまちづくりの推進

「大店立地法の指針の見直し」地域の良好な生活環境を保持するために相応しい指標や大規模小売店の社会的責任についての規程を新設地域の実情に合わせた基準の整備。

「新たなまちづくりビジョンの策定」高齢化・少子化による過疎化の進展、来るべき人口減少社会に対応すべく、新たなまちづくりビジョン策定事業の創設。

「会員増強運動の推進」きめ細かな会員サービスを提供して、より一層信頼され、役立つ商工会を目指す。

「市町村合併に対応した商工会合併による組織体制の整備」質の高い中小企業支援体制を維持し、効率的な事業展開ができるよう、商工会の組織運営体制の整備に万全を期す。

「商工会職員の資質向上」多様化・高度化・専門化している中小企業のニーズに即応するため、各種研修制度を活用し商工会職員の資質向上を図る。



県商工労働部長感謝状

副会長 松本三男

商工会役員功労者

会長 日暮好夫

理事 青山一男

湯原文男

藤井重男

牛込文男

吉田幹雄

本図一男

柏崎久雄

米川幸雄

小松澤秀幸

楠茂三郎

吉田光男

梶山英雄

滝本重貞

平林英一

齊藤幸枝

宮下達雄

監事

青年部功労者

元部長 千葉 繁

前部長 飯島一嘉

現部長 岩井文明

商工会優良職員功労者

経営指導員 金子 浩

多くの方々のご協力を得て
今年も盛大に開催できました！
ありがとうございました！

あみ商工まつり2005

10月23日(日)
会場 阿見中学校



こまどり姉妹



森野ひろし



東京ボーイズ

恒例の芸能ショーは笑いあり、涙あり……。



会長あいさつ 日暮好夫氏 実行委員長 松本三男氏

当日はとて暖かな絶好のまつり日和、町内外から沢山の来場者があり、最後まで大賑わいの一日でした。

今年もあみ商工まつりが盛大に開催され、たくさんのご来場がありました。数あるイベントの中でも、一番注目を浴びたのは、こまどり姉妹。こまどり姉妹来るんだって？」「何時から？」「入場料はいくらなんですか？」まつりの準備期間の内から、会員はもちろん、一般の方々から直接、あるいは電話で問い合わせが沢山ありました。そりやあもう、耳にタコができるほど。

当まつりは阿見中学校の校庭と体育館での開催となっております。校庭では、商工会青年部や女性部、阿見町商業振興会によるイベントのほか、商工会員による模擬店の出店がテントを連ねます。

また、金魚すくいやミニ新幹線、青年部のビンゴゲームやマジックバルーンなど、無料で楽しめるものも多く用意されているので、小さなお子さん連れの方も多いです。ご来場が多いです。



女性部 よさこいソーラン



三九ソーラン

3年連続で迫力のある演技を魅せてくれた「三九ソーラン」は今回で見納めです。今までありがとう！

県南地区商工会女性部カラオケ大会

優勝 「酒きずな」
美浦村 殿岡容子さん



さすが女性部代表！ 聴かせてくれます！

各商工会女性部の代表とあって皆さん歌の上手な方ばかりでしたね。



準優勝 稲敷市 関口文代さん



特別賞 阿見町 平岡京子さん



歌唱賞 取手市 千葉孝子さん

女性部の「おこわ」はもはや定番！

青年部のマジックバルーンは小さな子供達に大人気！

昔懐かしい駄菓子屋も子供達にはとても新鮮



お花作って！犬作って！
部員は大忙しです。



青年部視察研修レポート

福島県会津坂下町商工会青年部

青年部だいがく

視察先、会津坂下町商工会青年部「青年部だいがく」幹事の言葉。「そもそも商工会青年部とは何なのか？本会事業運営や町のお祭りの手伝い、要員でいいのか？正直なところ、ボランティア活動だけでは商売に繋がらない。何のために我々はあるんだ？せつかく町内の各分野の専門家が集まっているのだから商売に繋がる事業を行うべきだ」理想と現実の狭間に生まれた葛藤。出た答えが「青年部だいがく」であった。



事業の繰り返しでなく、反省と検証の積み重ねが事業成功のカギ (交流会にて)

青年部員が講師となつて自らの商売を通じて身につけたプロの技、専門知識を一般の人たちに実習形式で講義。この活動を通じて町の身近なプロの存在を知ってもらい、店のファンを創出し、商店の活性化に寄与することを目的としており、様々なテーマのもと通年事業として開催している。

これまで、会席料理・ミシン・味噌作り・日本酒・ビーズ・手作りソーセージ・タイル工芸・まじゅう・障子網戸はりかえ・イタリアンパスタ・味噌料理・豆腐などを題材に青年部だいがくを開講。のべ二十八回の講義と四五〇名の参加者があつたという。

この事業は①自分の商売をあらためて見つめなおす機会になる②部員のお手本になる③プロの姿から部員間に切磋琢磨の効果があつた④事業のフィードバックとしてお店に繋がりが生まれるなど、事業所のPRができる⑤参加者主役の住民参加型・体験型イベントとなる。地域への経済活性化効果として、地元商店街への関心、親近感の向上、町外からの誘客、材料の購入がある。また各店・青年部への効果として、お店のファンが増え、結果的に業績が向上し、事業意欲の向上に繋がる。この事業を成功させるために忘れてはいけないのが参加者の満足度である。「楽しい！また来よう！」と思わせるためにはより質の高い講義の実現が求められる。そのために講義ごとに①企画②リハール③本番④検証を繰り返している。決してやりっぱなし、垂れ流しの事業にしてはいけないのである。



一般消費者を対象に講義実演する青年部員

今回の視察研修では、話を聞くだけでなく実際に講義に参加することができ、現場に流れる空気を視察者と参加者の視点で感じることができた。研修で感じたことは、「とにかく楽しい！」ことと、現場スタッフの一体感である。短いセッションごとの楽しく分かりやすい説明・実演。各テーブルを巡回するスタッフのきめ細かな指導。参加者を飽きさせない絶妙な進行具合。誰もが失敗を恐れる事なく楽しく作業を進められる工夫がそこかしこに感じられた。今回の研修を通して、青年部だけでなく商工会全体も、聞くだけの講習会、見るだけの視察研修から脱却し、実のある新たな事業に挑戦する意識改革が必要だと痛切に感じた。

会員あつてこそその商工会、利用客があつてこそ地域経済の未来を創る事業として、この「青年部だいがく」の開講を目指したい。(十一月六日、日帰り視察研修を実施)

女性部

ヤーコン料理を披露

阿見町ヤーコンフェアに出品



「阿見町発祥の健康野菜ヤーコンのPR」を目的に実施された「阿見町ヤーコンフェア」がフードスクエアカスミ阿見店のご協力を得て店頭で開催されました。当会女性部も実行委員として企画・運営に携わり、フェア当日はヤーコン料理の試食ブースとして3品の料理(ヤーコンだんご・ヤーコン春巻き・ヤーコンナムル)を披露しました。事前に試食したおかげで当日の料理はどれも美味しくて大好評。今回の催しは、日本ヤーコン研究所(月橋輝男氏)・阿見ヤーコン味工房(トーフのねぎし・トレビアン・亀屋・しのぶあん)・JA茨城かすみ(ヤーコン生産部会・女性部)・商工会(女性部)より実現したもの。多団体による初めてのヤーコン事業でしたが、スタッフに恵まれ、当日も暖かな陽気で、お客さんの出も良く、とても和やかな空気の中での実施となりました。

参加者に聞く(阿見常陽木材・斉藤フミエさん)

Q. ヤーコン料理を作ってみていかがでしたか？
試食料理を3品各200食を作るということで、大変な作業になると心配していましたが、実際に調理を始めてみると意外に簡単に作れました。
Q. 試食されたお客様の反応はどうでしたか？
「家族にも食べさせたい」とレシピを持ち帰られる方が多かったです。全般的に好評でしたし、何より「美味しい」と言って頂けて嬉しかったです。
Q. ヤーコンを題材にした多団体による連携事業をやってみて感じたことは？
やらないよりも、やったほうがいいと思いますね。実際にやってみなければ分からないことも多いです。新たな視点を持つ事もできますから。
Q. 今回のように、地域活性化に関する情報を発信する事業を今後も実施したいですか？
はい。特に自分たちにとっては当たり前なことでも知らない人は案外多いものです。この事業も継続的に行うことでより効果が出てくると思います。

「今年はどこに行くんですか？」
「通知はいつごろ来るんですか？」
ここ数年、行き先が決まらないうちから問い合わせの電話が増えております従業員福利厚生事業。今年には松原湖畔探勝路をみんなでウォーキング！
今回心配の種だったのが天気。週間予報のお日様マークに裏切られ、前日夜半には雨音が……。それでも朝には雨は上がり、出発直後に雲の合間から見え始めた日差しにほっとしました。
ところが、目的地が近づくにつれて、どんどん厚く暗くなる雲。
目的地の松原湖へ向かう途中の山道では霧雨にもまみれます。松原湖畔に到着した時は今にも降り出しそう。そんな空の下、雨具を片手に出発するとやがて降り出す雨。
コースに入ると、のびのびと育った自然がしっかりと雨に濡れ、鮮やかな色彩が我々一行の目を染ませしてくれました。歩きやすい気温と全員健康ぞろいでの予定よりも早くゴールに到着。
心地良い疲れと汗のおかげで昼食も美味しくいただきました。そして茨城県人らしく、両手いっぱいのお土産を抱えてバスに戻ってきました。
次は、香り豊かなハーブ園に到着。園内を散策していると、なにやら華やいだ雰囲気。どうやら模擬結婚式の真っ最中のようにです。

よく見ると、式の参加者の中に我々一行の参加者も多数混ざっている様子(いつのまに……。)
模擬カップルが現れると、それはもう満面の笑みでクラッカーを鳴らされておりました。
それにしても皆様、どこに行っても楽しみ方がお上手ですね。
「日本のハーブ」のコーナーにはなんと、きゅうりやトマトが！ハーブといえど、外国産のオシロイバナが、結構なじみの植物もハーブだったりするんですね。とても勉強になりました。
さて、来年はどこに行くのでしょうか？



今年も各会員事業所から多くの参加がありました。来年もお楽しみに！

